



### 学習発表会

～児童生徒会企画「団結」～ 大成功！

# 無花果

No.175

平成29年12月22日発行  
発行 秋田県立聴覚支援学校  
秋田市上北手百崎  
字諏訪ノ沢3番127

## 主体的・対話的で深い学び

教頭 新井敏彦



このことばを聞いたことがありますか？これは、新しい学習指導要領の目玉の一つとして注目されていることばです。ちょっと前までは、アクティブ・ラーニングとも呼ばれていました。

私は、毎日学校の中を回って、子どもたちと先生方が勉強している姿を見るのが楽しみです。最近ふと思うのですが、本校の子どもたちの姿がこれまでと明らかに違ってきます。どのクラスに行っても、子どもたちがいろいろな悩みながら、自分から進んで活動しているのです。また、あるクラスでは、子どもたちが、「○○だから○○と思う。」とか、「○○なので○○と考えました。」など、自分の考えをどんどん発言しています。先生方も、「○○さんはどのように考えましたか。」と、子どもたちの思いや考えを引き出そうとしています。少しずつではありますが、主体的・対話的で深い学びに近づいているような気がします。

今年の十月、本校は、全日本聾教育研究大会秋田大会という研究会を開催し、全国から四百名を超える先生方にお越しいただきました。二年前から準備をはじめ、その間、教科指導に優れた先生を県内各地からお招きしたり、聴覚障害ご専門の先生を全国からお招きました。そのたびに、保護者の皆様には、いつもより早い下校にご協力をいただきました。本当にありがとうございます。しかし、この授業づくりも皆さんから高い評価をいただきました。しかし、この授業づくりも皆さんから高い評価をいただきました。これからも、みんなで力を合わせて取り組んでまいります。

保護者の皆様はもちろん、いろいろな方々に、子どもたちの成長した姿、先生方が熱心に指導している姿をもっと見ていただきたいと思えます。そして、これらのがんばりを続けることが、子どもたち一人一人の学力向上と希望する進路の実現につながることを願っています。

# 学部の行事コーナー

## 幼稚園部

### 電車に乗ってレッツゴー!

大滝 侑以子

空気がひんやりしてきた秋の日、駅のホームには、電車の到着を待つ親子の姿。銀色の車体が見えた瞬間、目を輝かせる子どもたち。初めて乗った電車は、ガタゴト揺れたり、景色がくるくる変わったり…。もう心はわしづかみ。秋田駅では、自動改札、券売機、ALVEの不思議なおもちゃなど…。魅力的なものだらけ。いっぱい遊んで体験した後の帰りの電車では、うとうとと眠そうなおもちゃもが大冒険で、笑顔も親子のふれあいも盛りだくさんの遠足になりました。



## 小学部

### スーパーマーケットの見学

佐々木 寿子

三年生が、今春オープンしたナイス山手台店の見学に行ってきました。真新しい店内を回った後、普段目にする機会がないバックヤードを見学し、調理の様子を近くで見たり、冷蔵庫や冷凍室の中に入ったりしました。子どもたちは初めて見るものに興味津々。最後に、おつかいと称して家族からお願ひされた品物を無事購入。貴重な体験ができた校外学習となりました。



## 中学部

### 人と関わるために

勝田 しのぶ

下北手中学校の体育祭への参加は今年で三年目です。スポーツを楽しむだけでなく、他校の人とたくさん話をして、積極的に関わり合うこともねらっています。「相手の口をよく見て話を聞くことができた」「分らない時に自分から質問できた」「もつと勇気を出して話せば良かった」など、他校の生徒との関わりについて考えました。相手に自分のことを知ってもらうためにはどうすればよいか、このあともみんな考えていきたいと思っています。



## 高等部

### 先輩と語る会

赤平 成美

九月十五日(金)、中学部高等部合同で「先輩と語る会」が行われました。講師には、平成二十一年度修了生である小松瑞穂さんに来ていただきました。同じ障害をもつ仲間との交流や一人暮らしのこと、手話通訳制度の重要性について、お話がありました。生徒から、手話通訳制度を最大限に活用することで暮らしやすくなることを理解しました」という声が聞かれました。



## 寄宿舎

### 合同余暇活動「虫ききの茶会」

保坂 康子

十月二十六日、旧非常勤職員の畠山博志先生から、茶道のお手前を視覚支援学校の生徒さんと一緒に体験しました。凛とした緊張感の中、お花や掛け軸を愛でながら季節を感じ、美しい絵柄のお茶碗で一服いただきました。お茶会での作法を学び、日本の心「おもてなしの心」を感じる事ができた貴重な時間となりました。



## 支援部

### 難聴児童交流会(七月二十九日)

小野 武則

今年度は、県内小学校から十名の子どもたちとその保護者、担任の先生が参加して、本校小学部と一緒に交流しました。子どもたちは三グループに分かれてクイズを出し合ったり、自由遊びで将棋やオセロなどをしたりして楽しみました。また、保護者の会では、難聴擬似体験をしたり、本校大塚由美子教諭の体験談を聞いたりしながら、情報交換する機会となりました。



## 初優勝! 特体連グラウンドゴルフ大会

小玉 幸子

今年度は、小学部三名と中学部一年生四名とで合同チームを編成し、特体連総合体育大会に臨みました。子どもたちから「プレッシャーを感じる。」「練習(の床面)と違うから難しい。」などの言葉が聞かれ、少々、緊張気味の様子。一打一打に集中してボールの行方を追い、がっかりと肩を落としたり…。笑顔をガッツポーズを作ったり…。それぞれが真剣にプレーする姿がみられました。その結果、ホールインワンを四名が決め、個人戦では一位(畠山陽稀さん)、三位(秦結束さん)の好成績を収めて、団体戦優勝に輝きました。今回のメンバーは、昨年度、小学部で出場し、二位を獲得した七名です。見事なステップアップを果たした子どもたちに拍手を送りたいと思います。



幼稚園部

りゅうぐうじょうへようこそ!

幼稚園担当 高橋 美裕



今年の幼稚園は昔話の「うらしまたろう」に挑戦!「海のなかには何があるの?誰がいるの?」「たろうさんはどうなるのかな?」イメージを膨らませ、お母さんの愛情たっぷり、毎日の練習に励みまし

た。練習の成果を発揮しようと、九人全員が臨んだ本番。自分のセリフをしつかりと覚え、前を見て大

小学部

「小学部トリオ&モリオ」の大活躍!

小学部担当 鈴木 暢子



「三人きりの小学部。いつたいどんな発表ができるのか?」しかし、小学部には四人目の出演者となる貴重な助っ人が!!それは、モリオオガエルの「モリオくん」。みんなと一緒に暮らしたモリオとの日々で実際にあつたことをベースにすることで、セリフにも一人一人の発言を多く取り入れ



て、普段の様子を再現することができました。プレッシャーを感じながらも六年生らしく頑張った蘭丸さん。演技で引きつけた琴音さん。練習のときから元気にセリフを言えた琉加さん。「三人だけ...」ではなく、「この三人だからできること!」の後押しをしてくれた、小さなモリオに感謝です。「また会おうね!」

中学部

ギョツと凝縮練習の成果!

中学部カラーガード発表

中学部担当 伊藤 健人

仕上がるのだろうか?と不安がよぎった練習初日。その後、限られた時間を精一杯集中して練習に取り組む生徒の姿が見られました。「三年間で今年が一番動きが難しく本番で緊張したけど、わくわくしました。」「練習時間は少なかつたけど、人数がたくさんいたから難しい作品に取り組めたのだと思う。」「できることなら、また同じメンバーでやってみたいです。」後日のビデオ鑑賞会后、生徒たちの感想発表は止まりませんでした。



高等部

古典落語「浜野矩随」

高等部担当 播摩 友紀子



生徒の希望から、今年は職人の成長を描いた古典落語の人情話である「浜野矩随」とよきこいなどの踊りを組み合わせた演目になりました。劇のテーマは「一生懸命やるといことはどういうことか」「自分を信じて応援してくれる母親の愛」でした。始めは棒立ち、棒読みだった生徒たち。しかし、役の気持ちを理



はまののりゆき

解して声の抑揚や間の取り方を意識し、感情に合わせ、体を動かしていくことで、迫真の演技となりました。落語の膨大な台詞を覚え、役を演じきった先輩たちに対して「演技力がすごかった。尊敬する。」という後輩の声や「最高の舞台だった。」という先輩の声が聞こえました。

『達成感』

生徒会副会長 児童生徒会企画リーダー

鈴木 亜未

児童生徒会企画

児童生徒会企画は、小学部から高等部専攻科の全員で進めてきました。自分たちだけの力で何かを作りあげ、聴覚支援学校の団結を深めることがねらいでした。

学習発表会までの三週間は、ほぼ毎日昼休みに集まり、練習や準備をしました。三回の全体練習では、歌と演奏が合わなくて苦戦しました。「本番までに間に合うのか?」と思いつつも、自分ができることに取り組みました。本番が近づくと、つれて合わせられるようになってきましたが、それでも、本番はうまくいくのか不安でした。本番は、今までの練習の中で一番よくできました。終わった後は、みんな達成感があったと思います。いい企画になって良かったです。





花田 順子

五洋電子・コーセーの二社を生徒と一緒に見学しました。私も保護者として、子供の将来の姿を想像しながら見学させていただきました。どちらの会社も共通して、「在学中に基本的なマナーを身につけなければならぬ」との事でした。生徒・保護者それぞれ得るものがあつた見学会だったと思えます。



### ランチランドツアー

佐々木 芙末子

十一月二十三日の学習発表会で、ランチランドを行いました。今年は何年よりも遅い開催ということで、いろいろと見通しを立てるのに難しいところもありましたが、先生方や保護者の皆様のご協力のもと、終えることができました。ありがとうございました。



## 全日本豊教育研究大会 (秋田大会)を終えて

黒澤 貴之

十月十九日(木)二十日(金)、第五十一回全日本豊教育研究大会(秋田大会)が開催されました。当日は全国より四百名程度参加し、本校で公開・指定授業、そして秋田キャッスルホテルで授業研究会等を実施しました。大会は大成功で、参加者から本校の素晴らしい様子や子どもたち一人一人の頑張りに対する賞賛の声をいただいております。かがやきの丘に移転し、初めての全国規模の大会。そして次の半世紀のスタートとなる秋田大会は全国からも注目されていきました。



そのようなプレッシャーに負けず、子どもと教師が一丸となつて頑張れたことは大きな宝だと思います。そうした宝を今後も大事にしていきたいと思えます。関係の皆様、ご協力ありがとうございました。



## 陸上部 陸上部キャプテン 木村 明日香



今年度の陸上部員は八名です。種目ごとに目標を立てて日々練習に励んできました。私はずっと憧れていたキャプテンを務めて二年目になりますが、悩みもたくさんありました。経験として先輩たちのすごさを感じることができました。私も先輩たちのようにチームを引っ張り、お互いを高め合う陸上部にしたいと頑張ってきました。私は引退しますが、これからも皆さんには陸上部を見守っていただければと思います。

## 卓球部 卓球部キャプテン 工藤 拓史



部活で一番頑張ったことは、仲間を大事にすることです。自分のためだけに練習するのではなく、後輩も強くなるように熱心に指導しました。後輩と練習試合をして、接戦になると、とても嬉しい気持ちになりました。卓球部を引退するのは、とても寂しいです。仲間や先生方のおかげで、中一から六年間たくさん良い練習をすることができました。本当にありがとうございました。

## ニュース・アングス

- ◎平成二十九年東北地区豊学校卓球大会(福島) (高等部)
  - 男子団体戦 第二位 工藤拓史
  - 男子一人個人戦 第二位 工藤拓史
- ◎第五十四回全国豊学校陸上競技大会(静岡) (高等部)
  - 男子一部 五〇〇m 第五位 深澤紘
  - 女子一部 一五〇〇m 第十二位 深澤紘
- ◎第五十回秋田県高等学校総合美術展(美術工芸部門)
  - 入選 小玉未来 推奨 小川優士
  - 推奨 木村明日香 鈴木亜未
  - 入選 木村明日香 鈴木亜未
- ◎第十五回わくわく美術展(絵画コンクール部門)
  - 最優秀賞 中学部三年 内山健太
  - 優秀賞 小学部三年 小玉彪雅
  - 入選 小学部三年 中島琴音
- (自由作品部門)
  - 美術部会長賞 (小玉彪雅、門脇紗南、秦結来、
  - 中学部合同 (小玉彪雅、藤原心華)
  - 畠山陽稀、藤原心華)

- 佳作 中学部合同 (内山健太、鈴木里桜、
- 入選 小学部合同 (伊藤蘭丸、佐々木琉加、
- 中島琴音)
- 入選 中学部二年 安田修利
- ◎みんなの写真展
  - 最優秀賞 高等部専攻科二年 佐々木廉
  - 優秀賞 高等部三年 木村明日香
  - 高等部二年 木村明日香
  - 中学部三年 内山健太
  - 中学部二年 小玉彪雅
  - 中学部一年 松本拓己
  - 中学部二年 長門里紗
  - 中学部一年 藤原心華
  - 高等部専攻科二年 赤坂弥風
  - 高等部三年 鈴木亜未
  - 中学部三年 秦結来
  - 中学部一年 畠山陽稀
- ◎第九回 秋田工芸展
  - 秋田県知事賞 作品名「華笑み」
  - (工藤拓史、齋藤邑哉、深澤紘、小川優士)

## 編集後記

様々な行事等を通して、一人一人の生き生きとした姿が見られた二学期でした。健康・安全に気を付けて、よいお年をお迎えください。